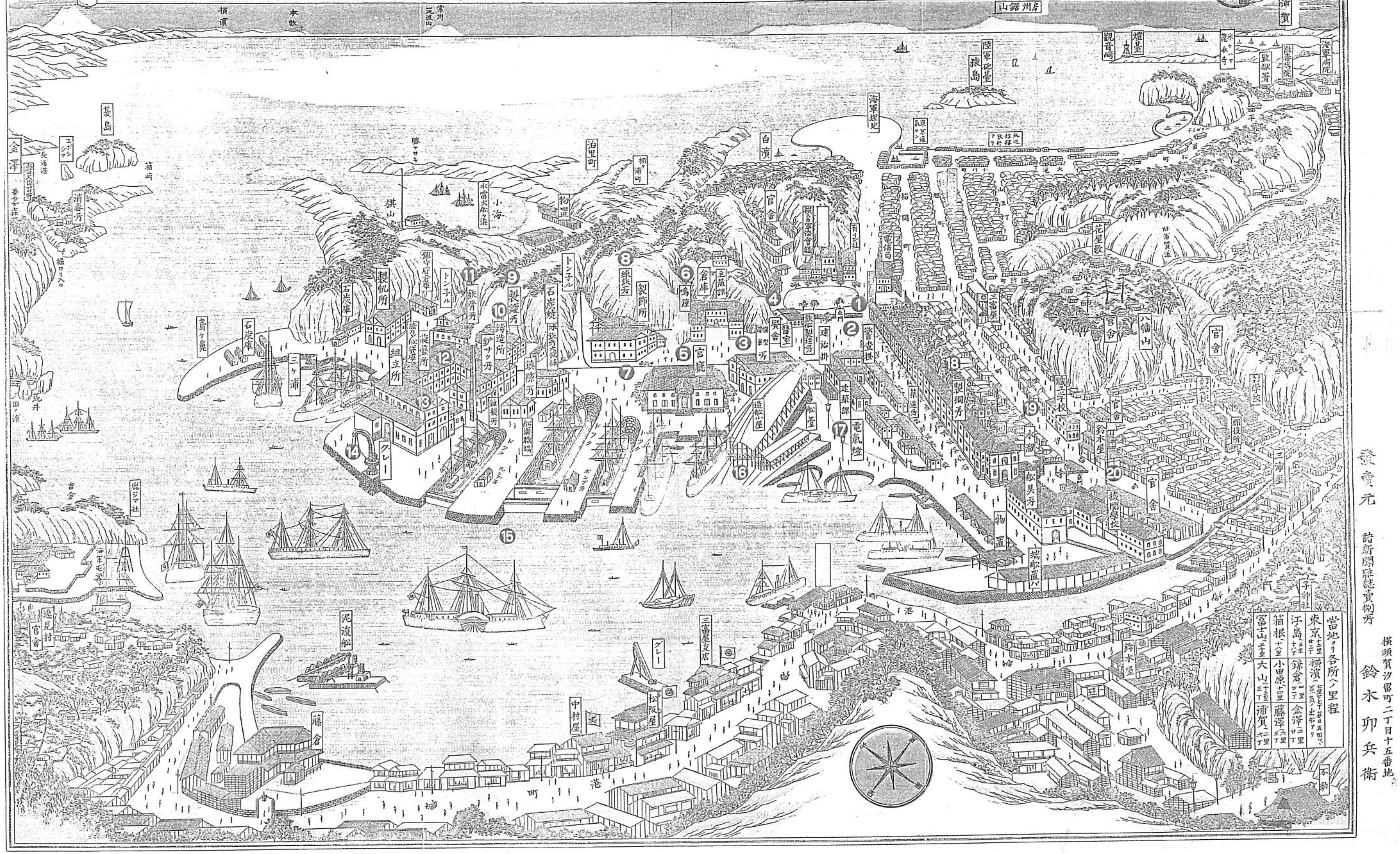
横須賀明細一覽圖

横須賀港ハ神奈川縣下相模國三浦郡ニ屬ス一港ニシテ東京ヲ距ル海上十四里横濱港ノ南ニアリ戸數凡ソ三千餘戸港内寛廣四面皆山ヲ帯ビ灣内水深ク大艦巨船常ニ輻湊シテ帆檣波上ニ林立シ解纜投錨時トシテ絶ルコトナシ其繁盛ナル遠ク諸港ノ及ブ所ニ非ス就中港内ノ美観トスル者ハ造船所ノ開造ニテ船渠及諸機械ノ運轉功用ヲ觀ンガ爲メ内外國人ヲ問ハズ来觀スルモノ一日數百人ノ多キニ至ル故ニ各人來遊ノ便ノ計リ數艘ノ流船常ニ東横ノ間ヲ來往シ客舎ハ大厦高閣ヲ築キ街衢ノ左右ニ甍ヲ列ヌ割烹店アリ妓樓アリ工造ハ都テ壯麗清潔ニテ日夜絃歌ノ聲ヲ絶タズ殊ニ山水ノ眺望佳ナルガ故夏時ハ暑ヲ避ケテ來遊シ風好ヲ愛翫スル雅客モ又多シトカヤ抑モ此ノ港内ニ造船所ノ設立アリシハ慶應元年ニテ幕府佛人ウエルニー氏ヲ傭ヒ以テ造船所設立ノ地ヲトセシム然ルニ此港タル天然ノ良地ニシテ水底至ッテ深ク地質モ該ノ渠ニ適スルガ故此ノ地ヲト定シテ造船所築造ノ工事ヲ起シ後慶應三年始メテ第一号船渠ハトック（[illegible]）ノ工事ヲ起シ明治四年ニ至ッテ竣功ス仝六年第二号船渠ニ着手シ仝七年成功ス又明治十三年ヨリ第三号船渠ノ工事ヲ起シ仝十七年ニ出來上ル是ヨリ先キ慶應二年製綱所ヲ建築シ明治元年鑄造所煉鐵所等ヲ設立セリ（[illegible]）以上ノ事業ハ多ク佛人ノ管理ニテ成功セシ者ナルガ三四年前ヨリ全ク我ガ國人ノ手ニテ巨艦大船及ヒ具備ノ諸器械ヲ製作ス然ルニ該ノ製造モ歐米各國ノ品ニ異ナラズト方今該造船所製造物ノ盛大ナルヿハ亞細亞洲中ニ第一ナリト又船渠ノ堅牢ナル五大洲ニ冠タリト云

昔時ハ此地人家僅ニ三十餘戸ニ過キズ海隅一小ノ漁村（今ノ汐留町ト云ル所ナリ）トナリシテ一トタビ造船所ノ設ケアリテヨリ僅々十余年ノ今日ニ至リテカク隆盛ノ小都會トナリシハ實ニ驚ク可キ開明ノ進歩ニゾアル

明治十六年七月

墨流　阿花漫記


房州鋸山
浦賀
常州筑波山
横濱
本牧
觀音崎
燈臺
海軍病院
監獄署
陸軍砲臺
猿島
海軍埋地
白濱
楠ヶ浦町
泊里町
物置
水雷火船々渠
小海
旗山
膝ヶサキ
蓑島
金澤
鎮守府倉庫
製帆所
石炭庫
トンネル
鉄骨汚
製罐汚
鋳造所
石炭焼
鍛鉄汚
製飾所
鳴鐘
倉庫
主蔵課
官舎
官廳
賀舎
醫室
鉄船製造汚
建治掛
警査掛
組立所
三ヶ浦
鎮守府
鋳造所
造船小屋
船臺
建築課
電氣燈
製綱汚
水船
職工学校
鈴木屋
官舎
八幡山
花屋敷
三富屋
電信局
稲岡町
郡役所
学校
三浦屋
船具汚
機関學校
物置
端舟置場
クレー
ドック
ポンプ
逸見村
泥渫船
藤倉
中村屋
松阪屋
三富屋支店
港町
不動
子神社
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

當地ヨリ各所ヘノ里程		
東京へ十三里廿三丁	横濱へ七里廿七丁 毎日五回ヅヽ蒸氣ノ出船アリ	
江ノ島へ五里十八丁	鎌倉へ四里廿丁	金澤へ二里廿丁
箱根へ十八里	小田原へ十四里	藤澤へ六里三丁
冨士山へ三十三里	大山へ十三里三丁	浦賀へ二里六丁

發賣元

諸新聞雜誌賣捌所

横須賀汐留町二丁目十五番地

鈴木卯兵衛